

多様性ってなんだろう？

ヒトは一人ひとり得意なこと、苦手なことがちがうように、それぞれ自分の気持ちを伝えることば（方法）を持っています。でも共通しているのは、「みんなの輪（社会）の中で協力し合うこと」と三谷さんは教えてくれました。

霊長類（ゴリラやチンパンジー）の研究のためアフリカへ行かれた時に住んでいる場所や社会によって、大きく価値観が変わると感じられたそうです。

例えば、アフリカのピグミーのような狩猟採集民では、森の中の危険（毒へびなど）に気づいても、獲物を見つけたら夢中で森の中にどんどん入っていく能力が必要です。一方、農耕民では、計画的に田や畑を耕すことが必要になり、狩猟採集民の行動は信じがたいものでしょう。

現在、私たちの生活の中では、年齢、性別、仕事、国籍など、様々な人が一緒に暮らしています。今回のお話では、「ヒトはいろんなヒトがいて当たり前（多様性）」と知ることが大切であると三谷さんは伝えてくれました。



皆さん、この特集を読んでどう感じましたか？夏休みの間に家族でゆっくりお話ししてみたいかでしょうか？

想像する！ 体験する！ 感じる！

三田市社会福祉協議会では、みんなが体験したい！ 感じたい！ を応援するプログラムがあります。

[プログラムの一例]

☆ トークゆうゆう ☆

失語症当事者と家族、支援者で構成。親睦と交流、失語症の啓発活動を行っています。

失語症の方が働く作業所トークゆうゆうを運営しています。



こうわ 講話

だいがくせい 大学生へ体験談をお話しています

<ねらい>

- * 失語症は一人ひとり症状が違うことを知る。
- * 命の大切さを知る。
- * 仲間の力に勇気が出る。
⇒ひとりぼっちでないことに気付く。
- * コミュニケーションの大切さを理解する。

<内容>

- * 「失語症を知っていますか？」

そうだん あ しゅつちよう か のう
ご相談に合わせて、出張することも可能です



さんだし いろいろ
三田市にも色々な人や場所があります。
たのこころりゅう
楽しく交流しながら、学んでみませんか？

【問合せ】三田市社会福祉協議会 ボランティア活動センター

TEL.564-0410 FAX.559-5945 Eメール vcen@sanda-shakyo.or.jp